

中2

数学

きほん

こたえ

名前 _____

連立方程式の利用

_____ 月 _____ 日

れい

りんご x 個とみかん y 個で10個、代金1040円 $\rightarrow x + y = 10, 120x + 80y = 1040$
… 個数と代金の2つの関係。

1 連立方程式をつくって解く

次の問題を、連立方程式をつくって解きなさい。

- (1) 100 円玉と 500 円玉が合わせて 14 枚あり、金額の合計は 3800 円です。100 円玉を x 枚、500 円玉を y 枚として連立方程式をつくり、それぞれの枚数を求めなさい。

$$x + y = 14, 100x + 500y = 3800 \quad x = 8, y = 6 \quad \text{答え 100 円玉 8 枚、500 円玉 6 枚}$$

- (2) 1本 90 円の鉛筆と、1本 110 円のボールペンを合わせて 8 本買うと、代金の合計は 840 円でした。鉛筆を x 本、ボールペンを y 本買ったとして連立方程式をつくり、それぞれ何本買ったかを求めなさい。

$$x + y = 8, 90x + 110y = 840 \quad x = 2, y = 6 \quad \text{答え 鉛筆 2 本、ボールペン 6 本}$$

- (3) 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数之和は 4 です。また、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数は、もとの数より 18 大きくなります。もとの数の十の位の数 x 、一の位の数 y として連立方程式をつくり、もとの自然数を求めなさい。

$$x + y = 4, 10y + x = 10x + y + 18 \quad x = 1, y = 3 \quad \text{答え 13}$$

- (4) おにぎり 1 個とお茶 3 本の代金は 430 円、おにぎり 4 個とお茶 4 本の代金は 840 円でした。おにぎり1個の値段を x 円、お茶1本の値段を y 円として連立方程式をつくり、それぞれの値段を求めなさい。

$$x + 3y = 430, 4x + 4y = 840 \quad x = 100, y = 110 \quad \text{答え おにぎり 100 円、お茶 110 円}$$

できた

/ 4問

